



2022年9・10月号

## 特集：量子インターネットに向けて（仮）

東芝が量子通信暗号鍵配送を事業化し、国家プロジェクトとしても量子情報に関連した研究が一層活気づいていますが、産業界および大学においても研究開発プレーヤの数が十分に増えていないのも確かである。しかし、量子暗号情報を支える学術および要素技術はなかなか高度であり、基礎から説明すると結局難解だという印象になりがちである。そこで、本特集では、要素技術を排して、量子ネットワークがセンサー、計算機を介して、今のインターネットのようにインフラ化したとき、どういう世界が実現できるのかという視点で、特集を組んでみたい。

	特集タイトル	執筆者
1	特集にあたって	神成文彦（慶應義塾大学）
2	量子通信ネットワーク技術の展望（仮）	武岡正裕（慶應義塾大学）
3	量子暗号技術の研究開発・標準化動向（仮）	釘吉 薫（情報通信研究機構）
4	実用的量子暗号技術（仮）	佐藤英昭（東芝）
5	量子インターネットの展望（仮）	永山翔太（mercari R4D）
6	量子インターネットの技術課題（仮）	生田力三（大阪大学）

※特集予定は都合により変更になる場合があります。